

防災機能

当体育館は、門真市の新たな防災拠点となるエリアに位置しているため、周辺の防災機能を有する施設と連携・補完を図り、エリア全体の防災機能を一層高めるための防災機能を充実させています。大規模地震などの自然災害によりライフラインが途絶した状況での災害応急対策の活動場所、新型インフルエンザなどの発生時の臨時診療場所、原子力災害にかかる広域避難の受け入れ場所などとして機能する施設となっています。

【主な防災機能】

次の3つの設備により「電源の多重化」を図るほか、電力貯蔵設備、中圧ガス導入、マンホールトイレなど、さまざまな防災機能を備えています。

【電源の多様化を図る3つの設備】

◆非常用発電機...敷地内のオイルタンクに貯蔵している燃料を使用して電力途絶時に電力供給が行える設備(写真①)

◆太陽光発電設備...太陽光エネルギーから発電された電力を電力貯蔵設備に蓄電し、非常時にも使用できる設備(写真②)

◆マイクロコージェネレーションシステム(停電時対応型)...中圧ガスを使用して電力途絶時に電力供給が行える設備(写真③)



①非常用発電機



②太陽光発電設備



③マイクロコージェネレーションシステム  
(停電時対応型)